

はじめに

昭和大学は、医系総合大学として、医・歯・薬・保健医療四学部を擁し、1年次学生は全員、富士吉田キャンパスで全寮制の教育を受けています。

近年の医学・医療の進歩はめざましく、学習すべき知識の量は年々増加の一途をたどっています。本学では、医・歯・薬学部は6年間、保健医療学部は4年間の一貫教育を行っており、全国に先駆けてカリキュラムのあり方を検討し、改善を加えてきました。全国的にも医学・医療系のカリキュラムを改善する動きがみられ、コア・カリキュラムとして全国共通の基本的学習内容が定められ、これは全体の約60%を占めております。残りの40%は、各大学の特色ある講義や実習を行うことが推奨されています。

本学に入学された皆さんが、それぞれの学部で1年次の学習する内容を記したものがこの学習計画書で、シラバス（syllabus）とよばれます。シラバスは、皆さんが学習する講義や実習の内容を記したもので、学習の目標、すなわち到達すべき内容が明示されています。

1年次教育における学習目標は、富士吉田教育部の教育理念として、以下の3項目に定められています。

A：視野を広げ、豊かな人間性と主体的態度を養う。（教養科目）

B：専門領域につながる基礎知識と能力を習得する。（基礎科目）

C：自らの進路への自覚を高める。（専門科目）

本学においては、特にA、B、Cを同等に重視しているのが特徴の一つであり、すべての教程は、それぞれの意義をもって設置されています。

本書（シラバス）には、1年次教育におけるカリキュラム全体がどのような内容から構成されているのか、それぞれの科目は何を学習し、どこまで到達しなければならないか、等々について記されています。各学部・学科によって専門性に差はありますが、本学1年次の学習の特徴の一つは学部横断型教育の導入です。すなわち、異なる学部・学科の人々が、将来の医療人を目指し、同じクラスで同じ科目を学習します。また、必修科目に加えて、1年次教育では選択科目があります。本書をよく読んでいただき、選択する科目を決めて下さい。そのためにも本書は必要不可欠です。皆さんが何をどのように学習しなければならないのか、その予定はどのようになっているのかなど、本書は皆さんが学習していく上で極めて重要です。本書を積極的に活用し、よりよい学習をされることを望みます。

富士吉田教育部長 小出 良平